

共創により新しい価値を生む

「第16回東北・新潟産学官金サロン in 浜通り」

どなたでもご参加可能(要申込)

世界のフロンティア、 福島の新産業創造

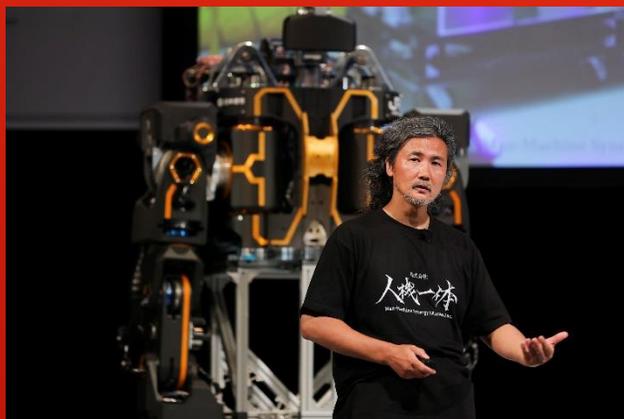
◇2025年 2月 6日(木) 14:30~17:00

●第一部セミナー 14:30~17:00(南相馬市/福島ロボットテストフィールド1階カンファレンスルーム)

●第二部交流会 17:30~18:30(// /あぶくま信用金庫本店4階ホール)

1泊2日視察会プラン有り(裏面参照)

講演



株式会社人機一体

代表取締役社長 金岡博士

「人型重機のビジネスモデルと
将来展望」

株式会社ビーエイブル

代表取締役社長 佐藤順英氏

「地元企業が取り組む廃炉作業
のロボット開発」



スタートアップ発表



“空飛ぶクルマ”最前線
テトラ・アビエーション(株)



各地で注目を集める
“自走型ロープウェイ”
Zip Infrastructure(株)

【参加申込フォーム】

[こちらをクリック\(URLリンク\)](#)



←スマホ・タブレットからは、こちらの
二次元コードを読み込んで
申込フォームにお進みください。

視察会含む全体スケジュール(一泊二日)

日程	時間(予)	場所	内容
1日目 2/6 (木)	10:30	JR仙台駅	集合・出発。終日、貸切バス移動⇒ <u>JR福島駅を經由</u> ⇒南相馬市へ
	13:15	南相馬市	①「福島ロボットテストフィールド(RTF)」視察
	14:30	〃	「産学官金サロンin浜通り」第一部セミナー参加(RTF)
	17:30	〃	〃 第二部交流会参加(あぶくま信用金庫)
	18:30	〃	一日目終了(宿泊:JR原ノ町駅前のホテル)
2日目 2/7 (金)	9:00	南相馬市	ホテル出発。終日、貸切バス移動
	9:30	浪江町	②「曾澤高圧コンクリート(株)福島RDMセンター」視察
	11:15	〃	③「震災遺構 浪江町立請戸小学校」視察
	12:15	〃	「道の駅なみえ」昼食・見学
	13:10	JR浪江駅	JR線利用者降車⇒バス移動、 <u>JR福島駅を經由</u> ⇒JR仙台駅へ(終着)

視察先

① 福島ロボットテストフィールド

- 陸・海・空のフィールドロボットの一大開発実証拠点。インフラや災害現場など実際の使用環境を再現しており、ロボットの性能評価や操縦訓練等ができる世界に類を見ない施設。



② 曾澤高圧コンクリート(株) 福島RDMセンター

- 同社はバクテリアの代謝機能を使った自己治癒コンクリート「バジリスク」の実用化・量産化に世界で初めて成功。Netゼロに向けて多角的に取り組む。
- RDMは、Research(研究)、Development(開発)、Manufacturing(生産)の頭文字。同じ敷地内に生産棟と研究・開発棟があり、成果や課題を研究開発にフィードバックする特徴を持つ。



③ 震災遺構 浪江町立請戸(うけど)小学校

- 福島県唯一の震災遺構。被災当時のまま残された校舎内を見学することができる。請戸小学校は、生徒全員が無事避難することができた奇跡の学校としても知られる。



参加費

種類	募集	費用	申込締切
① 一泊二日視察会プラン	30名程	20,000円(税込)	1月22日(水)
② サロンのみ参加	30名程	交流会費として3,000円(税込)	1月31日(金)
③ サロン第一部オンライン参加	100名	無料	

※①の参加費について:宿泊費(1泊朝食付)・貸切バス代・交流会費・視察先入場料・保険料が含まれます。途中参加・離団、自家用車利用等の場合も同料金となります。

※②の参加費について:交流会費・貸切バス代が含まれます。自家用車利用等の場合も同料金となります。

ご連絡

- ※①・②の参加者には、旅行代理店より参加費お支払い方法等の詳細をご連絡いたします。
- ※③の参加者は、サロン第一部会場(ロボットテストフィールド)まで直接ご来場ください。無料駐車場が利用可能です。また、路線バス・タクシー等でご来場の際は、第二部会場(ロボットテストフィールドから5km離れたあぶくま信用金庫)まで貸切バスが利用可能です。
- ※同一企業・団体から複数名参加が可能です。
- ※当日の服装は、平服・ビジネスカジュアル等で構いません。
- ※第二部交流会はアルコール・ノンアルコールをご用意します。飲酒運転は絶対にお止めください。

【お問い合わせ先】東経連ビジネスセンター 宮崎 TEL: 022-397-9098 E-mail: k-miyazaki@tokeiren.or.jp

(241226版)